



読字 故 原 田 親

No. 784

2015/ 12/15

# 日中友好新聞

発行所  
日本中国友好協会  
〒113-8525  
東京都文京区千石1-1-1

日中友好協会  
岡山支部  
〒710-8256  
岡山県岡山市東区3-8-30 511  
TEL:086(272)-3010  
郵便番号1100  
01250-0-3835

日中友好協会  
倉敷支部  
〒713-8511  
倉敷市連島中央1-8-4  
(宮地方)  
TEL:FAK086(446)-2711

日中友好協会岡山支部ホームページ  
<http://rizhong.biz/>  
メールアドレス  
rizhong86@hotmail.co.jp



## 「オールジャパン」実現のためのシンポジウム — 安保健法（戦争法）廃止のために岡山から声を —



### はじめに

11月28日(土)、林病院ひまわりホールで標記の集会在、岡山市九条の会連絡会の呼びかけで開催されました。

会は、岩間一雄代表委員の「一日も早く戦争法を廃止したい。そのために何かできることはないのかと考へ、シンポジウムを開催した。」と主催者代表のあいさつで始まりまし

た。コーディネーターの小畑隆資さんは、戦争法を廃止するためには、野党が結集する必要がある。岡山からどう声を上げていくか、市民と野党が共同して知恵を絞っていきたい。会場からも積極的に発言してほしい。」と会の趣旨及びすすめ方について述べました。参加したパネリストは、表一のみなさんです。

### 小林軍治

朝日新聞、RSKテレビ、岡山民報の三社の取材がありました。カンパが七万八千円集まりました。

次に二人の参加者の感想文を紹介します。

### 野党は戦争法を廃止するという大義のために共闘を！

#### 犬飼 繁

私は、今回このような画期的な企画をされた、主催者の尽力に拍手を送りたい。時宜を得たすばらしい内容でした。

さて、総合司会をされたのは、岡山市九条の会連絡会の小林軍治氏でしたが、ご存知のとおり日中友好協会の仲間です。中国脅威論を叫び、強引に安保健法を成立させた安倍政権。日中不再戦を誓う日中友好協会にあつては、この安倍政権を打倒し、安保健法を廃

止することが期待されます。そのためには市民と野党がリンクして戦争法を廃止する運動を継続し、野党同士も安倍政権を打倒し戦争法を廃止するという大義のために共闘し、来年の参議院選挙に勝利することが求められます。もし、参議院選挙で与党に勝利させ、3分の2以上の議席を与えたら、憲法改正が現実味を帯びてきます。それを阻止するためにも野党共闘は欠かせません。岡山からの声をぜひ東京まで届けたいものです。この日、パネラーを務められた鈴木實氏は高校教員の大先輩で、私が倉敷工業高校で人権教育の係をしていたとき、子どもの権利条約に詳しい鈴木先生に講演をお願いしたことがあります。小林先生や鈴木先生にお会いできたことも今日の成果の一つでした。

止る方々が共通の危機意識を持つて集まられていることでした。

9月19日の安保健法強行採決以降、各地のデモや連日報道されるニュースを見るたびにこの国の行すえに暗澹たる思いを抱いていました。

憲法九条という世界平和の模範ともなりうるこの誇れる憲法が、民主主義とともに土台から崩されるような気がして、それを危惧しない日はありません。何としても市民が立ち上がり、野党共闘の元、もう一度主権を我々の手に取り戻さなければならぬという思いで参加したこの会で、多くのことを得ることができました。パネリストの方々の辛辣な意見や宗教者としての冷静かつ大胆な見解があり、見識が広がりました。また、一般の方からの質疑には政党代表者も納得しておられるようでした。

### 一人ではできない事を一人から始めよう！

#### 坂田 俊一

今回、初となるシンポジウムに参加し、感銘を受けたことは、さまざまな立場におら

に活かしていきたいです。そして必ず野党が共闘し、ここ岡山から全国に発信していける運動をしていきます。

一人ではできない事を一人から始め、みんながその意識を共有できた時、政治を動かせる気がしています。

### おわりに

私は、各政党・団体にシンポジウムへの出席をお願いして回りました。いずれも真剣に対応してくれました。みなさん、思いは同じだと感じました。

12月7日、岡山市九条の会連絡会は、事務局会議を開きました。アンケート結果などを参考にしながら、今後の課題と取り組みについて話し合いました。

- 一、フロア発言の時間を多くしては。
- 二、若い人がもっと参加しやすい内容・雰囲気にしては。
- 三、マスコミにもっと働きかけては。
- 四、ママの会など、他団体への呼びかけをもっと広げては。

裏面に続く

パネリスト一覧表 (表1)

団体名	出席者	発言要旨
民主党	津村啓介 衆議院議員 高原俊彦 県議会議員	民主党の津村啓介衆議院議員は「野党は憲法9条の理想を共有して共に頑張る。」
維新の党	赤松章子 高井事務所 副幹事長	「野党共闘は絶対に必要」と高井たかし衆議院議員のメッセージを代読。
日本共産党	植本完治 岡山県委員会 書記長	「戦争法の危険な中身を市民に伝える政党の役割を發揮したい。野党が結集して自公を少数に追い込むようみなさんと頑張りたい。」
社会民主党	武本恒夫 岡山県連合会 幹事長	「安倍首相の暴走を止めるためにがんばる。秘密保護法に反対するたたかいに引き続き野党で協力する。」
新社会党	足田正義 岡山県本部 委員長	「岡山でも廃止に向けて行動することが大切。一緒に奮闘する。」
おかやま 宗教九条の会	鈴木 實	「まずは日本に立憲主義を取り戻す。そして安保法制は日本国民に受け入れられないという2点で共闘。」
岡山弁護士会	吉川拓威 憲法委員会 副委員長	「立憲主義に反した法律は認められない」

※発言要旨は岡山民報より転載。

史実、人権問題の探求者から日中友好運動への展開

— 大人の風格、大森久雄さんを偲んで —

宇野 忠義

私は、6年半前に倉敷市に戻り、たまたま、大森久雄さんの近くに住むことになり、大森さんご家族と6年余りの付き合いになります。

私は、大森先生の高校の4年後輩に当たりますが、先生の紹介で、倉敷9条の会、おかやま人権研究センター、日中友好協会などにも参加させてもらいました。また、歴史講座にも2、3度出席させてもらい、その学識の広さ、資料の読み込みの深さや丁寧な取り扱い、厳密な言葉遣いには感心しておりました。私も、農業史の研究を少しやっていたので、倉敷、岡山の歴史を教えていただきたいと強く願っておりました。ところが、大森久雄さんは、

(1ページからのつづき)

- 一、2000万人署名への取り組みを強化し、交流会を開く。
- 二、より進んだ内容・規模で第二回目を企画する。
- 三、他団体とも協力して、定時点時の宣伝・集会・デモなどを行う。

2011年の年末に脳梗塞で入院され、やがて人工透析も受けられるようになり、昨年11月16日、3年近くの闘病生活の中で、お亡くなりになりました。昨年、御遺志により、ご家族のみの密葬になりました。先日、11月8日、ご家族で一周忌を済まされ、新しいお墓に納骨されました。

倉敷は文化都市といいながら、文化や文化政策がないと日ごろ嘆いておられました。が、歴史家としての文化人を失ったことは大きな損失であります。

でも、昨年9月中旬、無くなられる前に、大森先生の最後の著作となった、**宥敷美**

はじめてのことで、手探り状態を取り組んだ。すべての野党が参加して圧巻であった。多くの人が待っていた集会でありよかったです。などの感想をいただきました。

いまは、やってよかったです。次回も成功させたい。

観地区の歩み』を発行することができました。今から4年前には、大半の原稿が出来上がっており、私はその原稿を読ませていただいておりました。昨年7、8月には、私も、最後の編集、校訂、校正などに協力し、発行予定を一月以上早めてもらい、9月中旬に病床に届けることが出来ました。手にとって、喜んでいただけたことは、私にとって唯一の恩返しとなりました。

大森先生とは、5年間あまりと短い期間でしたが、お元気なときは毎週のようにお会いして、諸活動をともにすることが出来ました。また、私のほうから集会参加や手紙書き、電話掛け、ポスター貼りなどもお願いし、無理なこともあったかもしれませんが、快く協力していただきました。亡くなられてから、改めて、その存在の大きさに感じ入っております。

大森先生は、1940年、倉敷市東町にて郷土史家の孫として誕生されました。倉敷青陵高校、愛媛大学文理学部を卒業。1963年より岡山県立高等学校教諭として、

36年間勤務され、1999年、定年退職されました。

高校教諭のかたわら、百姓一揆、部落問題史、倉敷地方史、地方史家列伝など、地方史の調査研究やその他翻訳にも精力的に取り組んでこられました。

岡山県史、岡山県部落解放運動60年史、新修倉敷市史編纂にも協力してこられました。

ことに、高校教諭時代から部落問題研究会活動に熱心に取り組む、県内や全国の研究集会にも参加し、「人権」、「民主主義」、「民族問題」、「民主教育のあり方」について調査研究と報告を積み上げ、運動を育てることに尽力されてきました。

また、日中友好協会倉敷支部長、倉敷9条の会の呼びかけ人等として、国際交流・友好親善活動や反戦平和の運動にも精力的に取り組んでこられました。おかやま人権研究センター副理事長も歴任され、業績や記録、足跡は多大であり、御遺志を継ぎたいものです。

次回の新聞送付作業は12月25日(金)午前10時から民主会館2階で行います。前回お手伝いくださった方です。

林和 内井 小竹 竹坪